

2015年11月11日  
野村不動産アーバンネット株式会社

報道関係者各位

**子育てと住まいを考える情報サイト「ノムコム with Kids」  
暮らしや住まいを豊かにしたい働くママのためのプロジェクト「ワーママ総研」発足！  
ママの理想は、平日でも育児を半分やる夫！  
でも現実には、育児は妻任せが過半数  
～子育て中のママに聞いた、夫の子育て・家事協力に関する意識調査結果～**

野村不動産アーバンネット株式会社(本社:東京都新宿区/取締役社長:宮島 青史)は、子育てと住まいを考える情報サイト「ノムコム with Kids」において、子育てするワーキングママのための「ワーママ総研」を、11月11日(水)スタートしますので、お知らせいたします。

「ワーママ総研」は、暮らしや住まいを豊かにしたいと考える働くママ(ワーキングママ)を応援するプロジェクトです。協力メディアとしてパワーママプロジェクトを迎え、アンケートやお宅訪問、コラムなどを通じて現在のワーママの事情を調査し、ワーママに役立つ情報を発信していきます。

ワーママが仕事と子育てを両立するためには、“夫”の理解と協力が欠かせません。そこで、「ワーママ総研」の立ち上げにあたり、夫の子育てや家事の分担に関する実態を調査しました。

「イクメン<sup>※1</sup>」が話題になって久しい現代の日本ですが、現状は、子育てにおいてまだまだ妻任せの部分も多く、理想の夫と現実の夫にギャップがあるようです。

調査結果ならびに今回の調査結果からみえてきた夫の家族とのかかわり方を、6つの動物の生態系にあてはめた「動物別タイプ診断」(監修:静岡大学農学部教授、農学博士 稲垣栄洋氏)をご紹介します。



＜ワーママ総研に関するお問合せ先＞

野村不動産アーバンネット株式会社 経営企画室(津賀・兼武)

TEL.03-3345-7779 FAX.03-3345-8273

＜調査結果に関するお問合せ先＞

株式会社Kプレス 中川・高橋

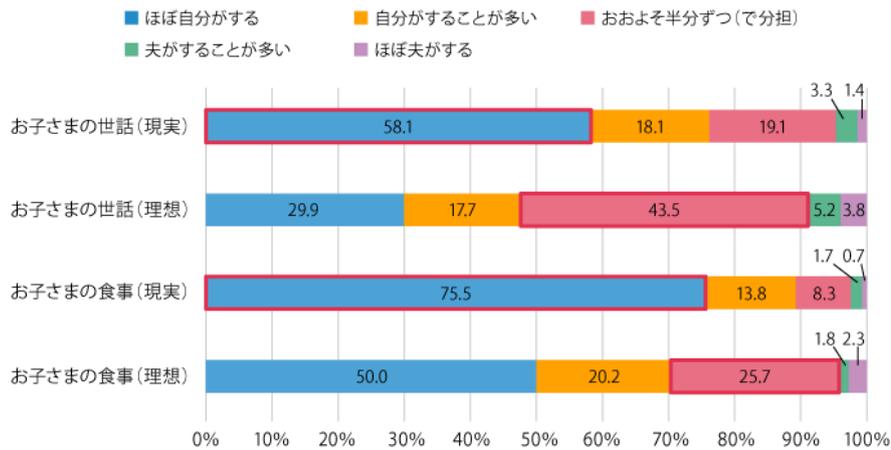
TEL.03-5550-1814 FAX.03-5550-1817

## 「ワーママ総研」夫の育児・家事協力に関する意識調査結果

### ■ 平日の育児の分担、理想と現実に大きなギャップ！

家庭内での平日の育児分担の理想と現実について聞くと、子どもの世話(排泄、寝かしつけ、子供と遊ぶ、保育園・幼稚園の送り迎え)は、**夫と自分の半分ずつが理想と答えた人が 43.5%**と最も多かったのに対し、**現実にはほぼ自分(妻)がすると答えた人が 58.1%**でした。子どもの食事の準備についての**理想は、25.7%の人が夫と半分ずつ分担と答えているのに対し、現実にはほぼ自分(妻)という人が 75.5%**でした。

Q.1 ご家庭内での「育児」のうち、平日の分担割合について「理想」と「現実」に近いものをお答えください。



妻の理想の夫は夫婦連携で協力し合い子供の世話をする「コウテイペンギン」タイプや、子どもの食事の世話が得意な「ハト」タイプですが、実際に多かったのは、子育ては妻任せの「ゴリラ」タイプ。

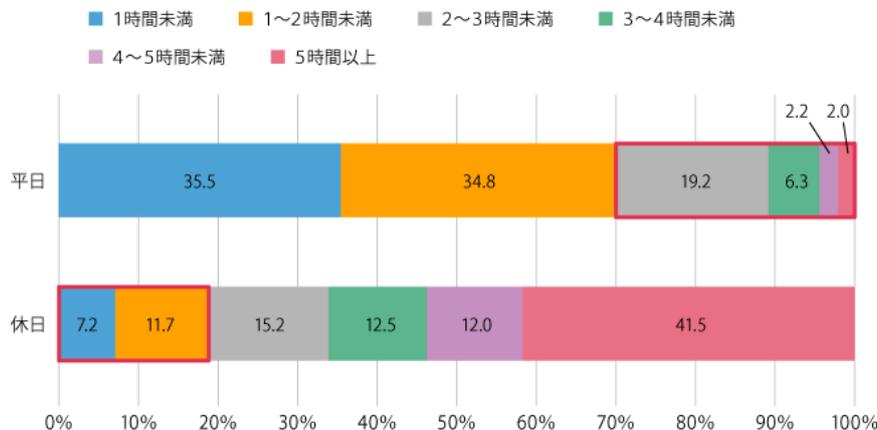
### ■ 平日でも 2 時間以上団らんする家庭 29.7%。

一方、7.2%が休日でも 1 時間未満しか団らんしていない。

1 日の家族団らんの時間について聞くと、**2 時間以上団らんの時間をとる家庭は、平日が 29.7%で休日では 81.2%**でした。一方、**7.2%が休日でも 1 時間未満しか団らんの時間をとっていない**という結果になりました。

Q.2 1 日のうちで家族団らんの時間はどの程度ありますか。

※家族団らんとは、家族が同じ場所に集まっている状態を指します。



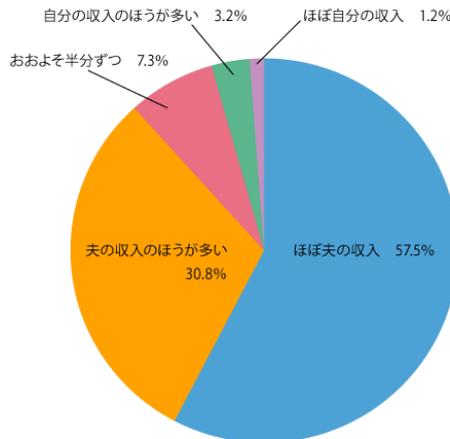
家族団らんの時間が多いのは、父親がしっかり働き一家のボスでありながら、家族で群れを作る「オオカミ」タイプ。

団らんの時間が少ないのは、父親が家庭に無関心な「ゴリラ」タイプといえます。

■世帯年収の割合は「ほぼ夫」と「夫の収入のほうが多い」が 88.3%で大多数。

家庭内での世帯年収の割合について聞くと、57.5%の人がほぼ夫の年収と答えました。また、「夫の収入のほうが多い」は 30.8%。ほぼ自分(妻)の収入と答えた人は 1.2%と、非常に少ない割合でした。

Q.3 あなたのご家庭内での「世帯年収」の割合について近いものをお答えください。



年収の割合がほぼ自分(妻)の家族は、オスが家事や子育てをする専業主夫型の「オオサンショウウオ」タイプで、人間の世界でも天然記念物のようです。

あなたの夫はどのタイプ？家事と子育て協力度から 6 つの動物に分類

<p>■オオサンショウウオ</p> <p>「家事と子育ては全部任せて！」 家族の健康と安全をフルサポートする 「専業主夫」夫</p>	<p>■ハト</p> <p>「授乳用ミルクなんて朝飯前！」 料理や家事で妻をサポートする万能 「カジメン<sup>※2</sup>」夫</p>
<p>■ビーバー</p> <p>「家のことはよくわからないけど、 教育のことは妻に任せておけない！」 教育熱心な「スパルタ」夫</p>	<p>■コウテイペンギン</p> <p>「俺におっぱいが出ればよかったのに。」 子どものお世話で献身的に妻をサポート する「イクメン」夫</p>
<p>■オオカミ</p> <p>無言で背中語る！一家の主として 家族をしっかり守る「子煩悩」夫</p>	<p>■ゴリラ</p> <p>「家事も子育ても女がするものだ。」 揉め事のときだけ出てくる「無関心」夫</p>

※動物分類の詳細はワーママ総研 web サイト( <http://www.nomu.com/withkids/wm/research/shindan.html> )をご参照ください。

■静岡大学農学部教授、農学博士 稲垣栄洋氏 コメント

「子育て」ができるということは強い生きものの特権です。たとえば大量の卵を産む魚類や両生類なんかは産みっぱなしで子育てなんかしませんよね。さらにオスが子育てをする、つまりメスと子どもを守る力がある生きものは限られています。いろいろな生きものの生態や家族のありようにまなざしを注いだければ、彼らの姿からきっと、生きることの本質や子育ての役割というものを教わったり、あるいは励まされることもきっとあるのではないのでしょうか。

稲垣 栄洋(いながき ひでひろ)

静岡大学農学部教授、農学博士。専門は雑草生態学。農林水産省に入省後、静岡県農林技術研究所上席研究員等を経て現職。著書に『身近な生きものの子育て奮闘記：育児上手なオスはモテる！』『たかう植物：仁義なき生存戦略』(以上、筑摩書房)ほか多数。

## ■「ワーママ総研」協力メディア MAMApicks 編集長 深田洋介氏 コメント

ネット上では、共働き家庭の保活<sup>※3</sup>をはじめ、ベビーカーのマナー、さらにはハーネス<sup>※4</sup>の是非といった論争が絶えません。子育てにまつわる社会の関心は確実に高まっていると言えます。そして「イクメン」や「ワーママ」といった言葉は日常的に目にするようになりました。身近な動物に当てはめるという切り口から、親しみやすく多様な家族の形が広まってお互いに理解が深まれば、もっと子育てしやすい社会になると思うのです。

深田 洋介(ふかだ ようすけ)

子育て世代向けニュース&コラムサイト「MAMApicks」編集長。子育て・教育分野を中心にネットメディアで10年以上にわたって関わり、業界の動向をウオッチし続けている。

### 【調査概要】

調査元 : ノムコム with Kids 「ワーママ総研」

調査名称 : 「ワーママ総研」夫の子育て・家事協力に関する意識調査

調査時期 : 2015年3月2日(月) ~ 3月5日(木)

調査対象 : 25歳~44歳の子育てをする既婚女性 600人

調査方法 : インターネット上でのアンケート回答

※1 イクメン …子育てする男性(メンズ)の略

※2 カジメン …家事を積極的に手伝う男性(メンズ)の略

※3 保活 …子供を保育所に入れるために保護者が行う活動。特に待機児童が多い都市部では入所選考に有利になるよう様々な活動を行っている。

※4 ハーネス …子供用の迷子ひも

## ワーママ総研とは

### ■「ワーママ総研」のコンセプト

女性は男性と比べて、自分の資産(お金・時間・思考)を自分のライフスタイルや家族の健康維持、子どもたちの教育に向ける傾向があります。

女性が仕事を持つと、その家族のライフスタイルの質は高くなり、最終的には日本のライフスタイルの質が高くなるはず。

「ワーママ総研」は、「仕事と子育ての両立」という大きなミッションをこなしながらも、「家族や子どものために暮らしや住まいの質を上げたい」と考えるワーママを応援します。

### ■主なコンテンツ

【ワーママ調査】世の中の「ワーママ事情」を、アンケートなどによって明らかにします

【ワーママコラム】人気コラムニストによるコラムを連載。第1回は、「断捨離®」の著者

【ワーママお宅訪問】生活や住まい探しの工夫やノウハウ、ライフスタイルを取材します

■URL <http://www.nomu.com/withkids/wm/index.html>

■スタート日 2015年11月11日(水)

■協力メディア パワーママプロジェクト <http://powermama.info/>

パワフルで等身大のワーママのロールモデルをシェアして、明日の活力につなげるプロジェクト。

実際にワーママとして各方面で活躍中のメンバーが中心となり、WEB やイベントなどを中心に活動中。ワーママ・オブ・ザ・イヤーなどのアワードも開催している。

以上